

2018年3月期決算説明会

株式会社 安永

証券コード: 7271

2018年5月31日



将来見通しに関する注意事項

本資料に記述している業績予想および将来予測は現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。

その為、様々な要因によって、実際の業績が記述する将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

したがって、投資に関する最終決定につきましては上記を踏まえ、投資家の皆様ご自身のご判断で行われるようお願い致します。

本資料に掲載する情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えくださいますようお願い致します。

- **トピックス**
- 2018年3月期決算概要
- 2019年3月期業績予想
- 第5次中期経営計画



自動車部品のラインナップ拡充

エンジン部品事業において、従来の戦略製品である5C部品(コネクティングロッド、シリンダーヘッド、シリンダーブロック、カムシャフト、クランクシャフト)に加え、新たにエンジン吸気系部品とブレーキ関連部品を受注。

今夏からの量産に向け、国内及びメキシコ工場で生産ラインを立上準備中。自動車業界の大変革期への対応として、製品ラインナップを拡充。



ゆめぼりす工場(伊賀市)

18年7月 エンジン吸気系部品 量産開始予定(※)
9月 ブレーキ関連部品 量産開始予定
19年1月 ブレーキ関連部品 ライン追加予定



安永メキシコ(ハリスコ州)

19年4月 エンジン吸気系部品 量産開始予定
20年2月 ゆめぼりす工場のエンジン吸気系部品
ライン(※)を移管予定

工作機械の加工設備刷新

2018年3月期、機械装置事業の売上高が過去最高を記録。
自動車業界向け工作機械の順調な受注状況に対応するため、機械のコア部
品を精密加工するマザーマシン4台を刷新。(3月より稼働中)
生産性の向上と、従来外注製作していた部品の内製化によるリードタイムの
短縮で、競争力を強化。



横型ジグボーラー



縦型 5 軸加工機



ワイヤー放電加工機

- トピックス
- **2018年3月期決算概要**
- 2019年3月期業績予想
- 第5次中期経営計画





検査測定装置



ワイヤソー



エアープンプ



ディスポーザ



コンロッド



シリンダーヘッド



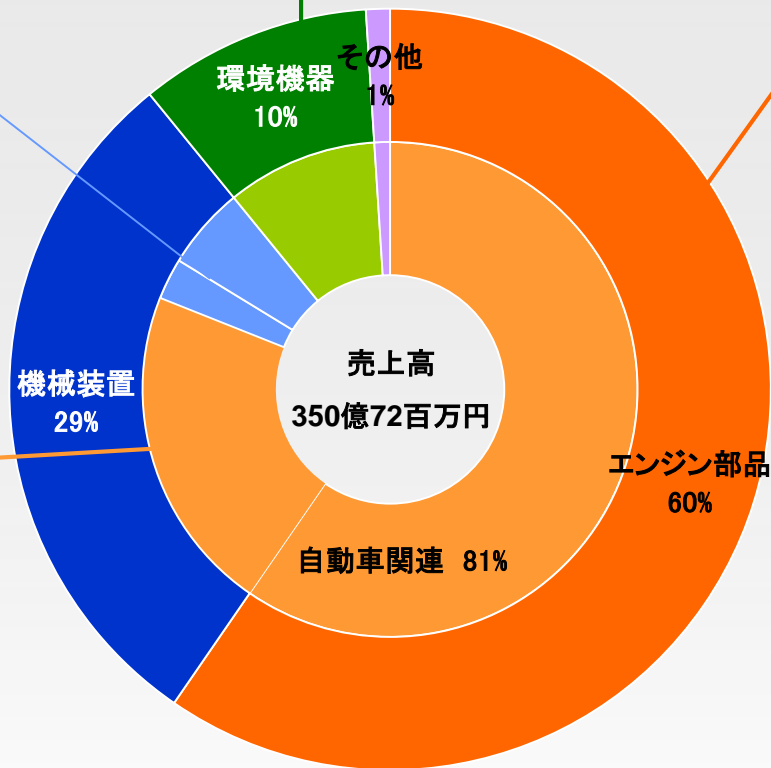
シリンダーブロック



カムシャフト



クランクシャフト



工作機械

2018年3月期決算トピックス



自動車業界の旺盛な設備投資意欲を受け、機械装置事業の売上高が過去最高を記録。

海外子会社の外貨建て借入金に対する為替評価は益に転じ、経常利益増加。

(単位:百万円)	17年3月期	18年3月期			対前年 増減額
	実績	上期	下期	通期	
売上高	34,019	17,344	17,727	35,072	1,053
営業利益	1,469	951	868	1,819	349
(対売上比)	(4.3%)	(5.5%)	(4.9%)	(5.2%)	
経常利益	1,125	941	738	1,679	553
(対売上比)	(3.3%)	(5.4%)	(4.2%)	(4.8%)	
当期純利益	341	613	650	1,264	922
(対売上比)	(1.0%)	(3.5%)	(3.7%)	(3.6%)	

決算概要：セグメント別売上高・営業利益（連結）



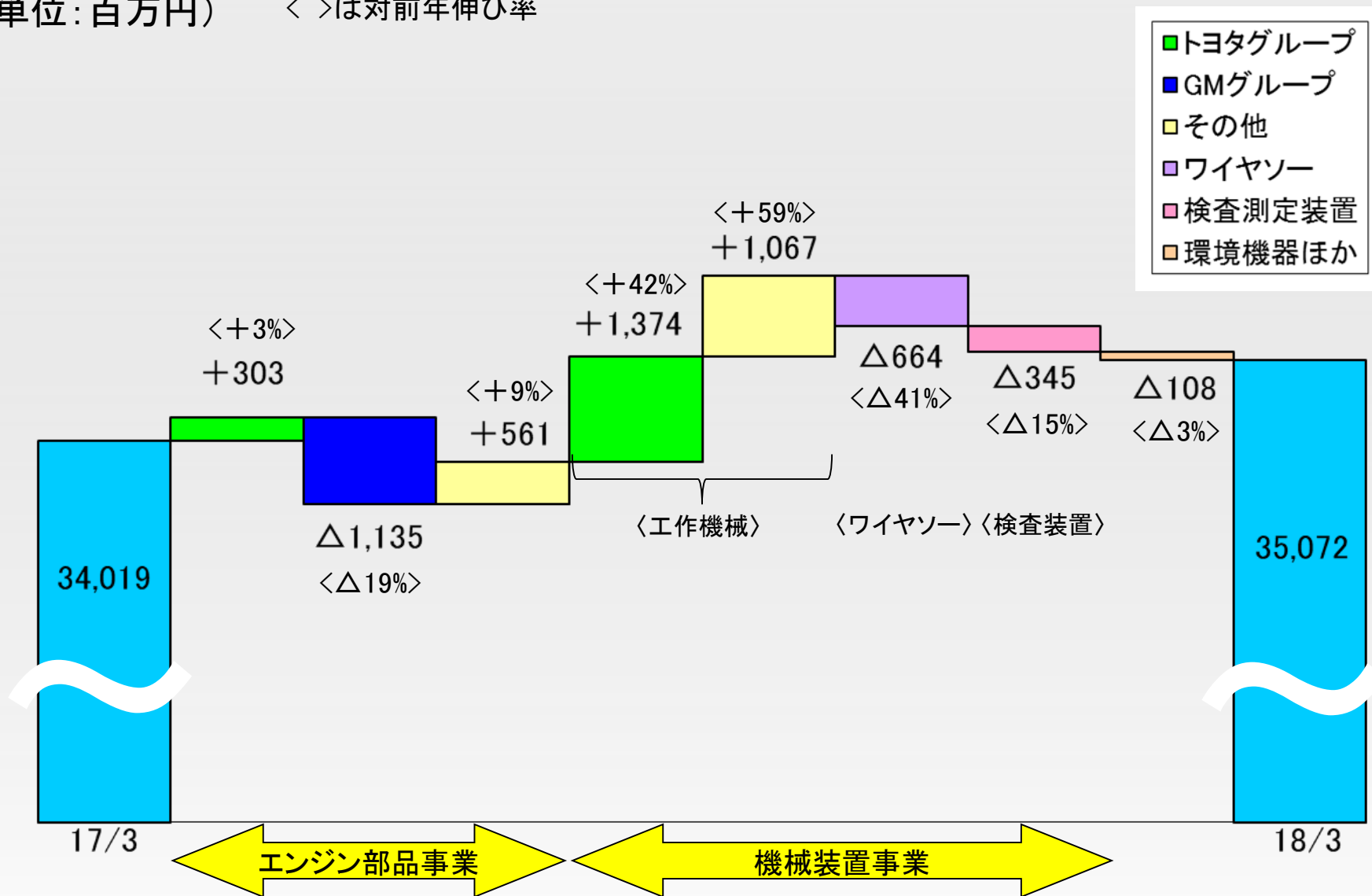
売上高の（ ）は構成比％ 営業利益の（ ）は営業利益率％

（単位：百万円）

	売上高			営業利益			売上増減内訳
	17年3月期	18年3月期	対前年増減	17年3月期	18年3月期	対前年増減	
エンジン部品	21,173 (62.2%)	20,903 (59.6%)	△ 270 (△1.3%)	676 (3.2%)	442 (2.1%)	△ 234 (△34.7%)	トヨタグループ + 3.0億 GMグループ △11.4億 その他 + 5.6億
機械装置	8,919 (26.2%)	10,353 (29.5%)	1,433 (16.1%)	354 (4.0%)	1,001 (9.7%)	647 (182.5%)	工作機械 +24.4億 ワイヤソー △ 6.6億 検査測定装置 △ 3.5億
環境機器	3,589 (10.6%)	3,459 (9.9%)	△ 130 (△3.6%)	387 (10.8%)	331 (9.6%)	△ 56 (△14.5%)	エアーポンプ △ 0.5億 ディスポーザ △ 0.7億
その他・調整	336	356	20	50	43	△ 6	
合計	34,019 (100.0%)	35,072 (100.0%)	1,053 (3.1%)	1,469 (4.3%)	1,819 (5.2%)	349 (23.8%)	

決算概要：連結売上高増減要因（得意先別）

（単位：百万円） < >は対前年伸び率



決算概要：損益計算書の状況（連結）

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		増減率(%)	増減額
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
売上高	34,019	100.0%	35,072	100.0%	3.1%	1,053
売上原価	29,258	86.0%	29,651	84.5%	1.3%	392
販管費	3,291	9.7%	3,601	10.3%	9.4%	310
営業利益	1,469	4.3%	1,819	5.2%	23.8%	349
営業外収益	150	0.4%	213	0.6%	42.0%	63
内、為替差益	—	—	77	0.2%	—	77
営業外費用	493	1.5%	353	1.0%	△28.5%	△ 140
内、支払利息	159	0.5%	162	0.5%	1.5%	2
内、為替差損	211	0.6%	—	—	—	△ 211
経常利益	1,125	3.3%	1,679	4.8%	49.2%	553
税前当期純利益	1,071	3.2%	1,599	4.6%	49.2%	527
法人税等合計	730	2.1%	335	1.0%	△54.1%	△ 395
内、法人税等調整額	172	0.5%	△ 237	△0.7%	—	△ 410
当期純利益	341	1.0%	1,264	3.6%	270.0%	922

決算概要：貸借対照表の状況（連結）

（単位：百万円）

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
流動資産	17,253	20,378	3,125
固定資産	16,136	16,442	306
資産合計	33,389	36,820	3,431
流動負債	13,982	16,812	2,830
固定負債	8,886	8,268	△ 618
純資産	10,520	11,739	1,219
負債・純資産合計	33,389	36,820	3,431
有利子負債	14,253	14,756	503
自己資本比率	31.5%	31.9%	0.4P
1株当たり純資産	879.38円	981.27円	101.89円

主たる増減	
流動資産	
現金及び預金	+1,611百万円
仕掛品	+955百万円
固定資産	
有形固定資産	+342百万円
流動負債	
支払手形・買掛金	+1,044百万円
1年内長期借入金	+544百万円
短期借入金	+500百万円
固定負債	
長期借入金	△422百万円
社債	△220百万円
純資産	
利益剰余金	+1,096百万円

決算概要：キャッシュ・フローの状況（連結）

（単位：百万円）

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	2,232	2,898	666
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,977	△ 1,545	432
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 543	217	760
現金及び現金同 等物の増減額	△ 361	1,624	1,985
現金及び現金同 等物の期末残高	3,485	5,110	1,624

POINT (主たる要因)

営業活動によるCF	減価償却費	+ 1,634
	税金等調整前当期純利益	+ 1,599
	仕入債務の増加	+ 1,253
	たな卸資産の増加	△ 1,231
投資活動によるCF	有形固定資産の取得	△ 1,582
財務活動によるCF	有利子負債の増加	+ 503

有利子負債の状況（連結）

（単位：百万円）

	2017年3月末	2018年3月末
有利子負債（D）	14,253	14,756
現金及び預金	3,625	5,237
ネット有利子負債（D）	10,628	9,519
純資産（E）	10,520	11,739
D/E レシオ	1.35倍	1.26倍
ネット D/E レシオ	1.01倍	0.81倍

- トピックス
- 2018年3月期決算概要
- **2019年3月期業績予想**
- 第5次中期経営計画



業績予想：2019年3月期売上高・利益の予想（連結）



（単位：百万円）

	2018年3月期 通期	2019年3月期（予想）			対前年 増減率
		上期	下期	通期	
売上高	35,072	19,000	18,000	37,000	5.5%
営業利益	1,819	900	750	1,650	△9.3%
（対売上比）	（5.2%）	（4.7%）	（4.2%）	（4.5%）	
経常利益	1,679	800	700	1,500	△10.7%
（対売上比）	（4.8%）	（4.2%）	（3.9%）	4.1%	
当期純利益	1,264	500	400	900	△28.8%
（対売上比）	（3.6%）	（2.6%）	（2.2%）	（2.4%）	

業績予想：セグメント別売上高・利益の予想（連結）



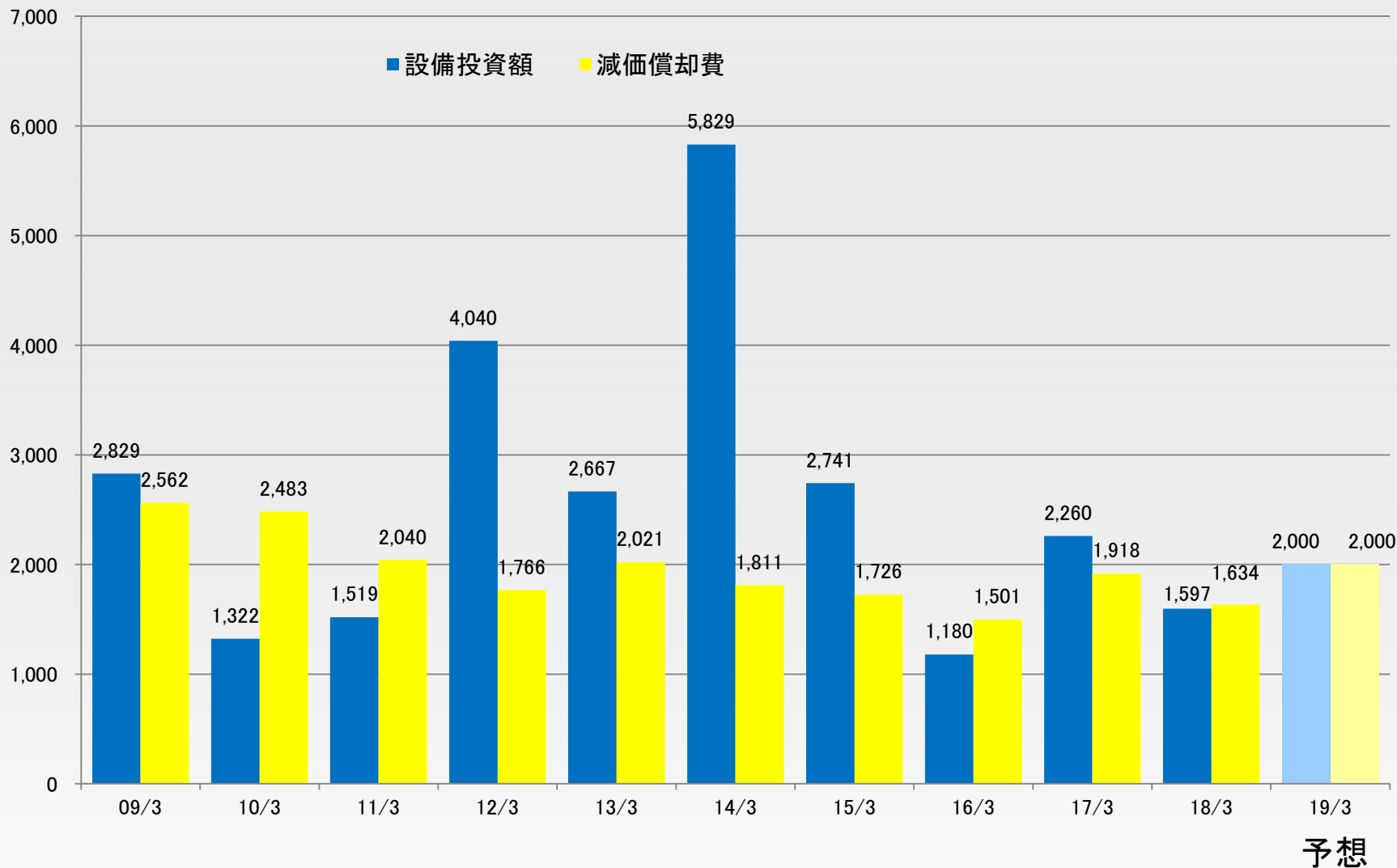
売上高の（ ）は構成比％ 営業利益の（ ）は営業利益率％

（単位：百万円）

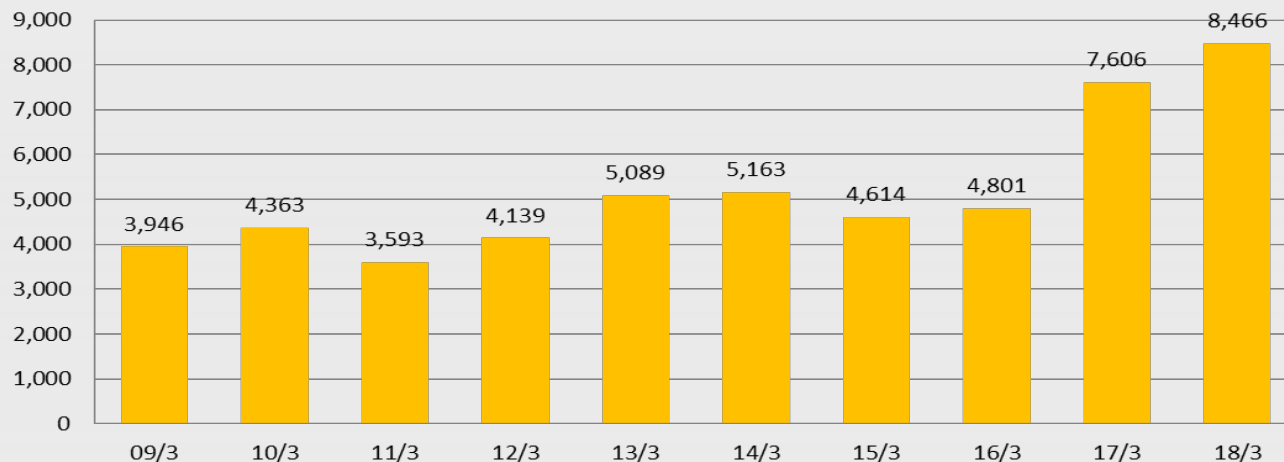
	売上高				営業利益			
	18年3月期	19年3月期 予想			18年3月期	19年3月期 予想		
	実績	上期	下期	通期	実績	上期	下期	通期
エンジン部品	20,903 (59.6%)	11,140 (58.6%)	10,760 (59.8%)	21,900 (59.2%)	442 (2.1%)	130 (1.2%)	100 (0.9%)	230 (1.1%)
機械装置	10,353 (29.5%)	5,800 (30.5%)	5,200 (28.9%)	11,000 (29.7%)	1,001 (9.7%)	590 (10.2%)	470 (9.0%)	1,060 (9.6%)
環境機器	3,459 (9.9%)	1,900 (10.0%)	1,880 (10.4%)	3,780 (10.2%)	331 (9.6%)	170 (8.9%)	160 (8.5%)	330 (8.7%)
その他・調整	356	160	160	320	43	10	20	30
合計	35,072 (100.0%)	19,000 (100.0%)	18,000 (100.0%)	37,000 (100.0%)	1,819 (5.2%)	900 (4.7%)	750 (4.2%)	1,650 (4.5%)

設備投資・減価償却費の推移

(単位:百万円)

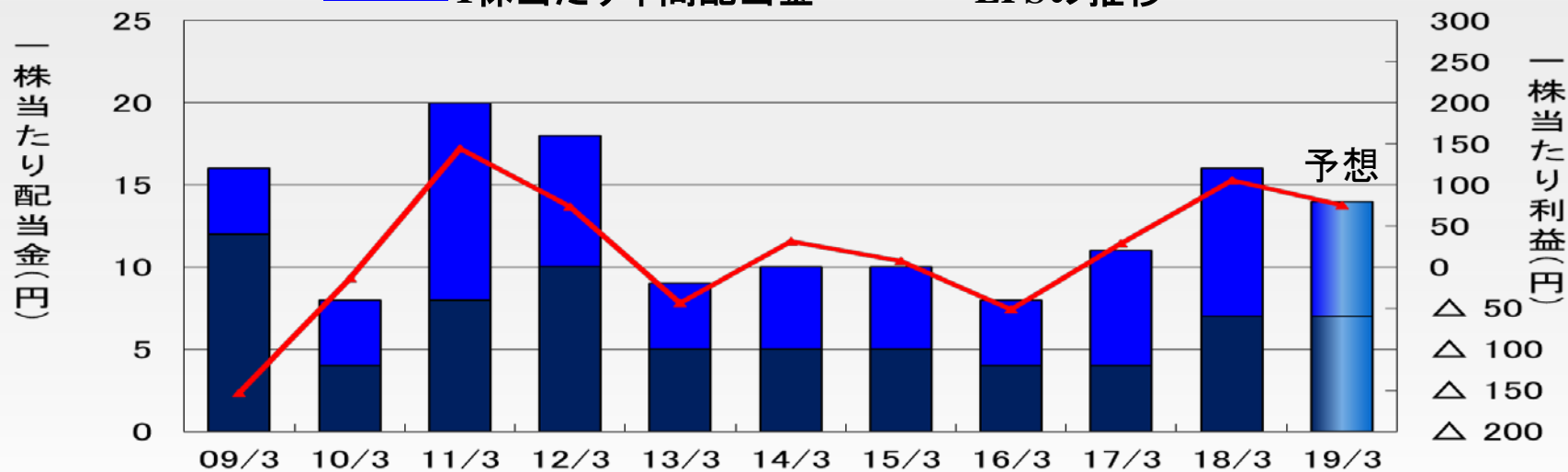


<株主数の推移>



<配当金の推移>

■ 1株当たり年間配当金 — EPSの推移



- トピックス
- 2018年3月期決算概要
- 2019年3月期業績予想
- **第5次中期経営計画**



基本戦略

～「グローバルニッチNo.1」を積み重ねて～

1. グローバルニッチNo.1

- ◇各事業体の取組み ⇒ 地域No.1、顧客No.1、製品No.1の達成／強化
- ◇グローバル地域の充実 ⇒ インドネシア・タイ・韓国工場の安定成長
メキシコ工場の生産体制確立～本格稼働
中国二拠点を活用した製販・サービス強化

2. 新事業の創出

- ◇『二次電池関連技術』『熱電発電素子関連技術』を一層高めるとともに、試作販売を通じた事業化を目指す

3. 財務体質の強化

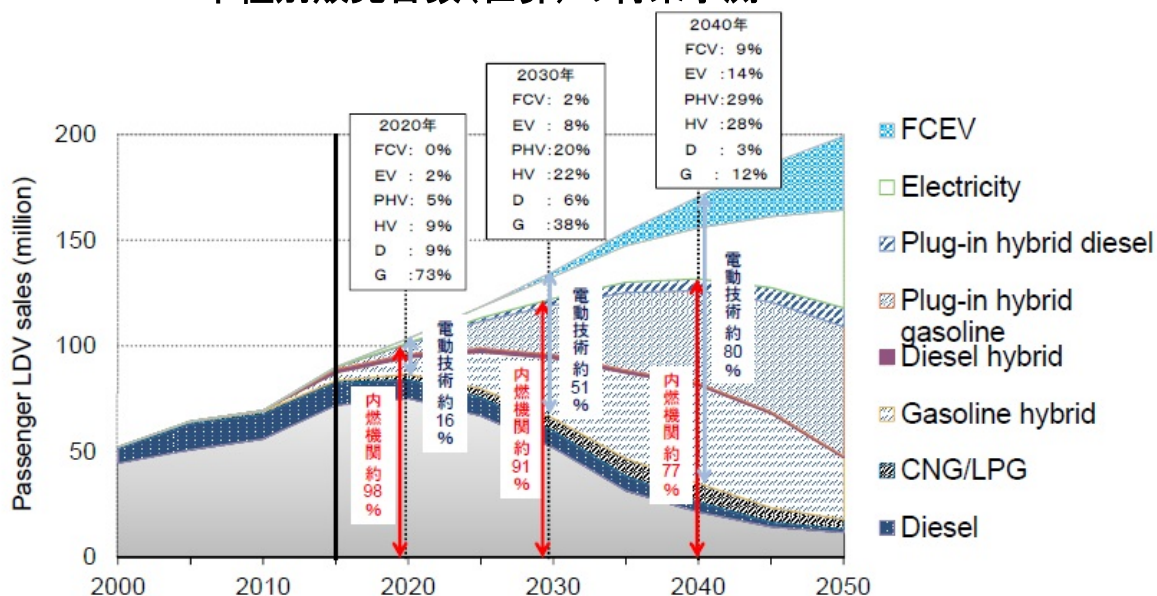
- ◇「自己資本比率」と「ROE」の向上

事業戦略

エンジン部品事業

- ◇自動車メーカーの生産体制に合わせた、生産拠点の体制強化を進める。
- ◇主力のコネクティングロッドは、先進国、新興国のいずれにおいても、あらゆる素材・工法に対応。

車種別販売台数(世界)の将来予測



当社拠点におけるコネクティングロッド生産対応

材料	工法	先進国	新興国
鍛造材	切断	○	○
	かち割り	○	○(※)
焼結材	切断	○(※)	○
	かち割り	○	○(※)

(※)は第4次中計の期間に新たに加わったカテゴリー



出典：「自動車産業を巡る構造変化とそれに対応について」 平成27年11月 経済産業省製造産業局自動車課

事業戦略

機械装置事業

- ◇独創的なコア技術と原価力および生産性の更なる向上で、最適なモノづくりを創出し、顧客ニーズに合った製品を提供。
- ◇特に自動車・車載半導体の市場で、商品提案 および受注活動を強化。



工作機械

ワイヤソー

検査測定装置

事業戦略

環境機器事業

- ◇「浄化槽用エアープンプ」「燃料電池用エアープンプ」「ディスポーザ」の3本柱で、更なるシェア向上に努め、環境分野で社会に貢献。
- ◇特に「浄化槽用エアープンプ」は、海外市場において、米国でのシェア拡大と東南アジアでの販売基盤の確立に注力。



浄化槽用エアープンプ



燃料電池用エアープンプ



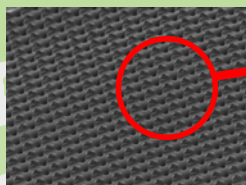
ディスポーザ

事業戦略

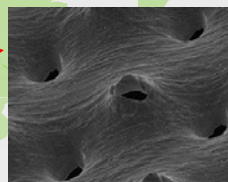
新事業創出

◇ 『二次電池関連技術』

リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンキャパシタ向けの
ビジネスモデル構築と、小規模量産開始を目指す。



微細穴明き集電箔



拡大画像



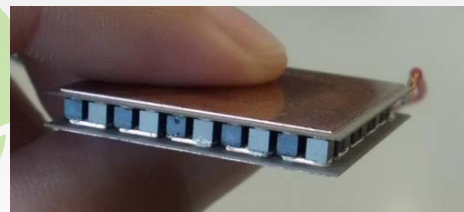
評価用セル

◇ 『熱電発電素子関連技術』

生産技術構築と、顧客への当社熱電発電素子および熱電発電モジュール
の採用を目指す。



熱電発電素子



評価用モジュール

海外拠点の近況

山東安永精密機械有限公司
(中国・山東省泰安市)

工作機械、治具等の製造・販売

- ・17~18年度、設備投資を実施し、品質向上、原価低減の取組みを強化

韓国安永(株)
(韓国・全羅北道益山市)

エンジン部品の製造・販売

- ・コンロッド既存ラインへの新機種追加(18年7月量産開始予定)

安永アメリカ(株)
(アメリカ・ミシガン州)

エンジン部品の販売

- ・米ビッグスリー向け営業活動
- ・メキシコ法人の営業活動サポート

上海安永精密切割機有限公司
(中国・上海市)

ワイヤソー、検査測定装置、消耗部品の販売・サービス

- ・中国のワイヤソー市場は、安価な現地メーカー製の台頭により苦戦

安永メキシコ(株)
(メキシコ・ハリスコ州)

エンジン部品、工作機械の製造・販売

- ・15年7月会社設立
- ・18年夏操業開始に向け準備中
- ・日系自動車部品メーカーからエンジン吸気系部品の初受注(19年4月量産開始予定)

安永タイ(株)
(タイ・ラヨーン県)

エンジン部品、工作機械の製造・販売















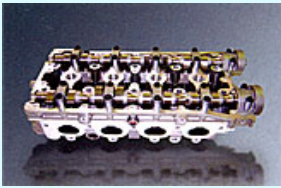


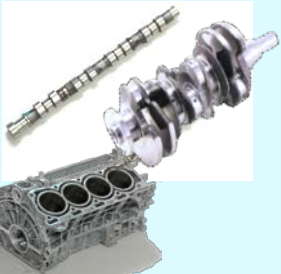






- ・17年度に続き、また新たな日系自動車メーカーから、コンロッドの受注決定(19年11月量産開始予定)

安永インドネシア(株)
(インドネシア・セラン県)

エンジン部品、エアープンプの製造・販売

- ・18年度、エアープンプの中国外注先からの内製化を実施し、品質及び生産性向上の取組みを強化

エンジン部品の新規商談状況

製品名		19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期
コロンド 	国内		 		
	海外	  	  		 
シリンダーヘッド 	国内		 		
	海外				
その他 	国内	 			
	海外	 			

2019年度(最終年度) 連結業績目標値

(単位:百万円)

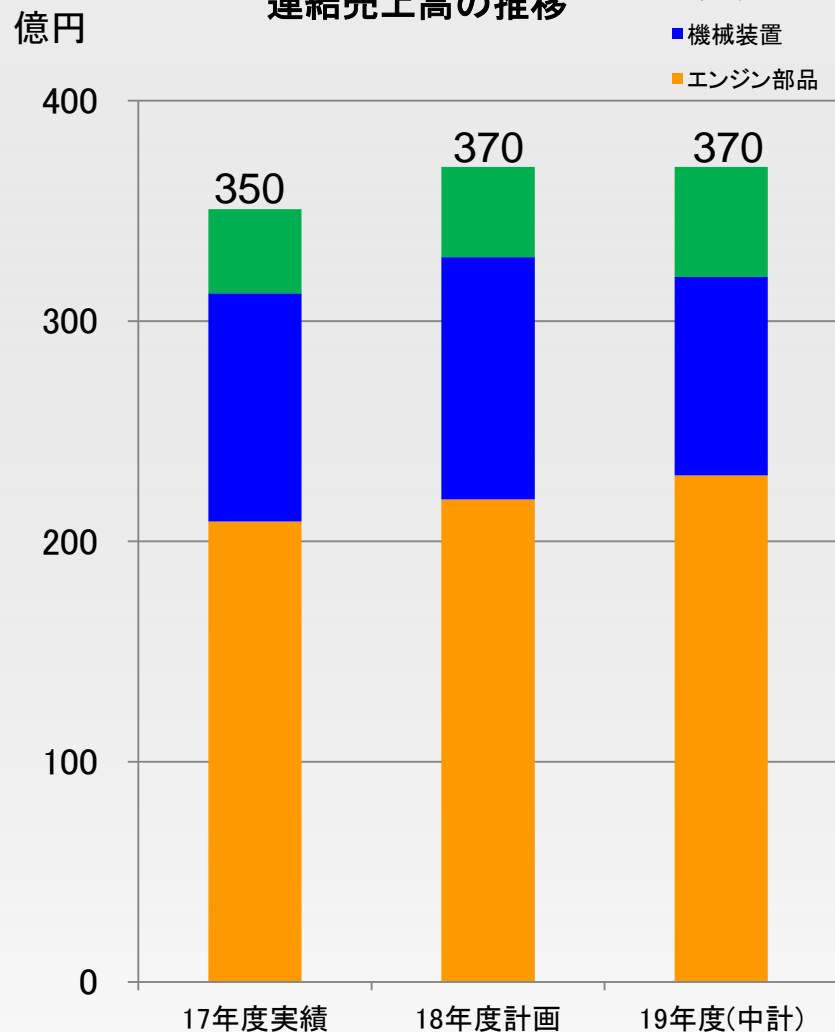
	売上高	営業利益	営業利益率
エンジン部品事業	23,000	700	3.0%
機械装置事業	9,000	650	7.2%
環境機器事業ほか	5,000	500	10.0%
合計	37,000	1,850	5.0%

連結財務ベースの長期的な数値目標

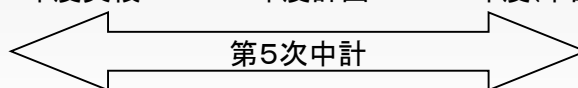
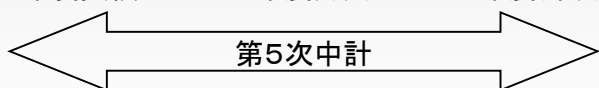
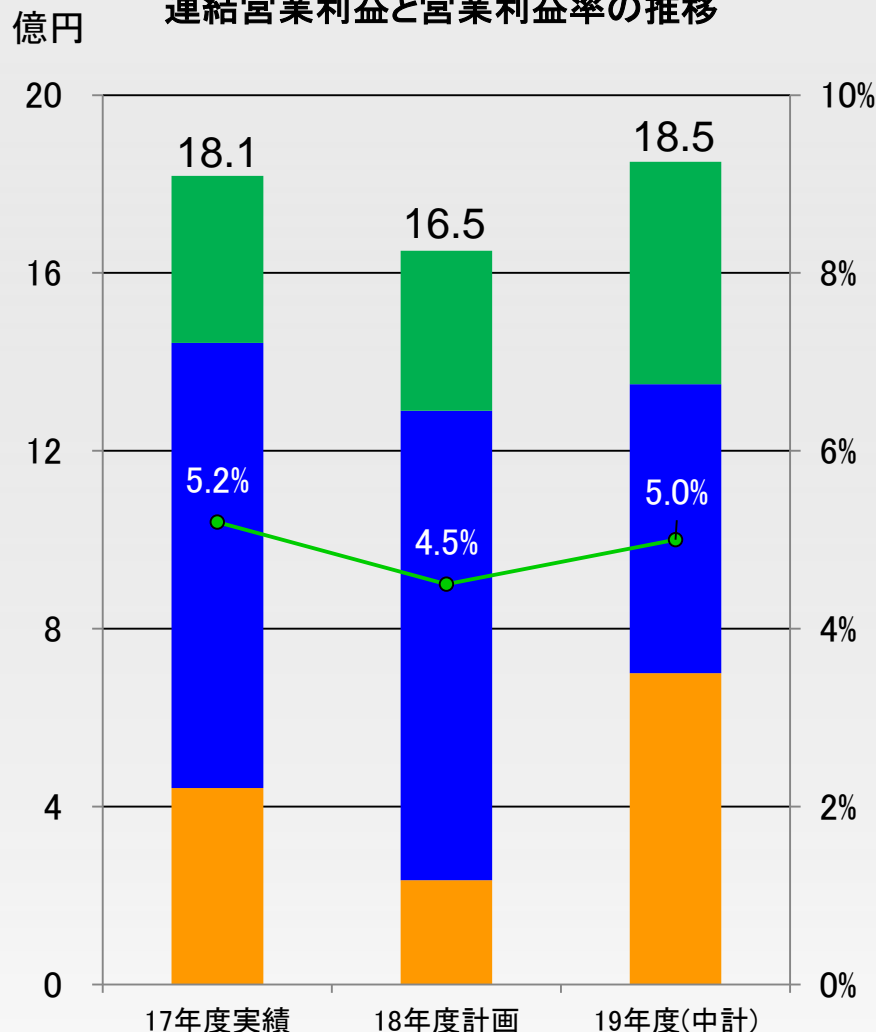
自己資本比率	ROE (自己資本利益率)
40%以上	継続的に10%以上

連結売上高の推移

- 環境機器他
- 機械装置
- エンジン部品



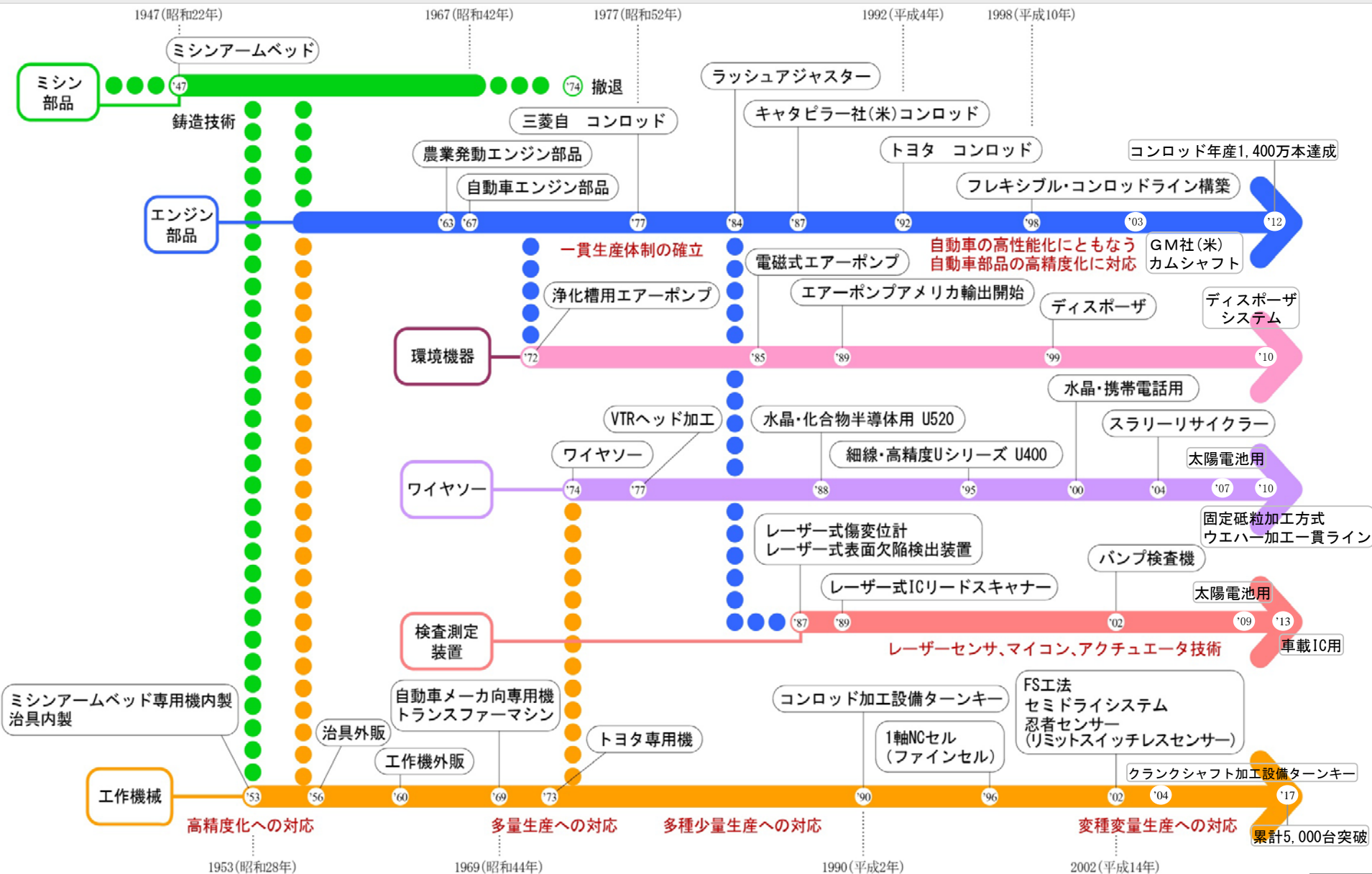
連結営業利益と営業利益率の推移



- **設 立** : 1949年9月(昭和24年)
- **代表者** : 代表取締役社長 安永 暁俊
- **上 場** : 東京証券取引所 第一部 (2014年6月12日)
1単元の株式数 100株
- **事業内容** : エンジン部品、機械装置(工作機械、ワイヤソー、検査測定装置)、
エアーポンプ及びディスプレイシステムの製造・販売
- **資本金** : 21億42百万円 <2018年3月期>
- **売上高** : 350億72百万円(連結) <2018年3月期>
- **従業員** : 1,763名(連結) <2018年3月31日現在>
- **事業所** : 本社(三重県伊賀市)
工場(伊賀市4、名張市1)
- **関連会社** : 国内 4社、海外 7社(6ヶ国)

製品技術の歩み

補足資料②



事業領域 エンジン部品事業

補足資料③

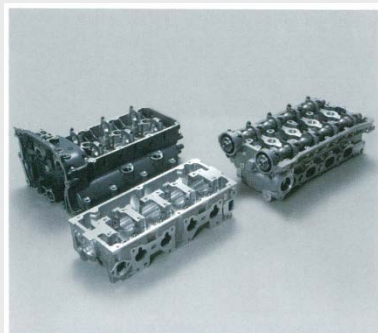
(%)はエンジン部品
製品別売上比率

【17年3月期→18年3月期】



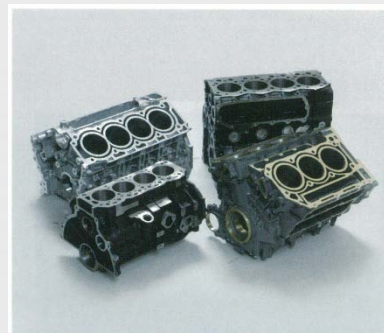
01 コネクティングロッド Connecting rod (51→57%)

トヨタ、ダイハツ、三菱自、三菱ふそう、
フィアット・クライスラー



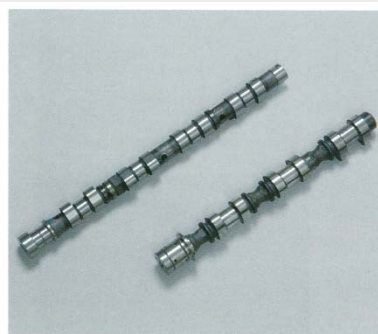
02 シリンダーヘッド Cylinder head (12→6%)

韓国GM、スズキ、三菱重工業E&T、
クボタ、トヨタ



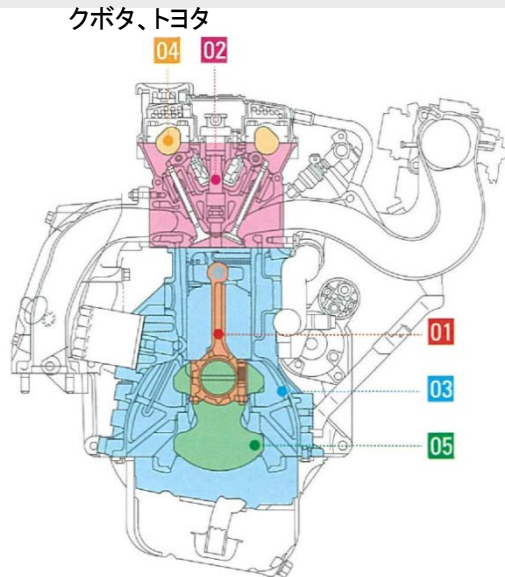
03 シリンダーブロック Cylinder block (12→12%)

三菱重工業E&T、クボタ、スズキ、
ダイハツ



04 カムシャフト Camshaft (18→18%)

GM



その他(7→7%)



05 クランクシャフト Crankshaft (0→1%)

韓国GM

自動車メーカーが
内製している
エンジン部品を
当社が生産

エンジン内部に組み込まれる
部品の生産・加工

エンジンの性能、
機能を熟知

高品質、低コストの
製品づくりを提案

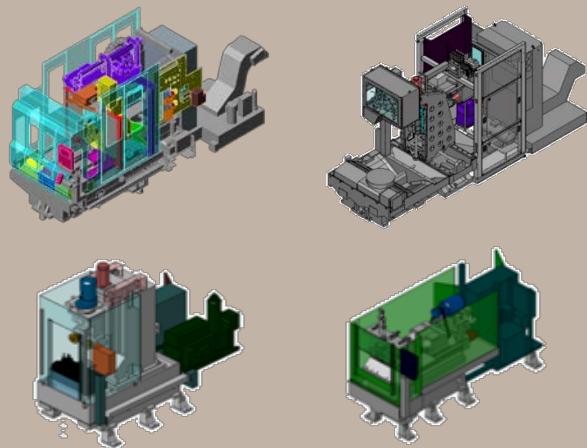
【主要取引先】
トヨタ自動車、GM、ダイハツ工業、
三菱自動車工業、三菱重工業E&T、
韓国GM、クボタ、三菱ふそう、
スズキ、フィアット・クライスラー 等

専用機の
豊富な経験から
標準機を開発

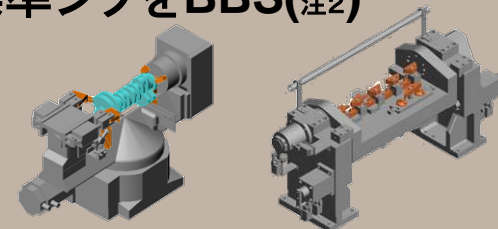
部品事業の
生技ノウハウを
開発、設計に
盛り込む

セルマシン(注1)で多くの実績

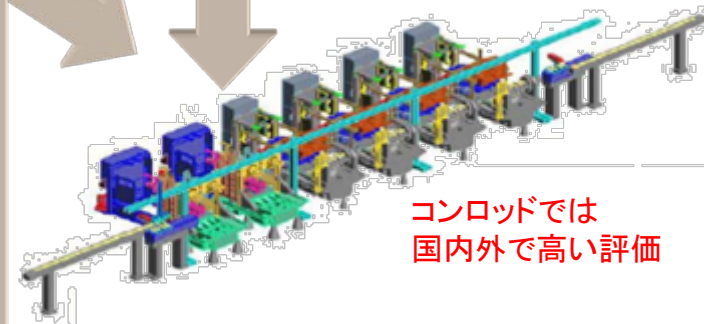
コンロッド、軸物(カムシャフト、
クランクシャフト)加工設備



標準ジグをBBS(注2)



専用機で培ったノウハウを標準化



コンロッドでは
国内外で高い評価

ターンキー受注に対応可能

低コスト、高品質の製品づくりを提案

注1: 工程特化型マシニングセンター

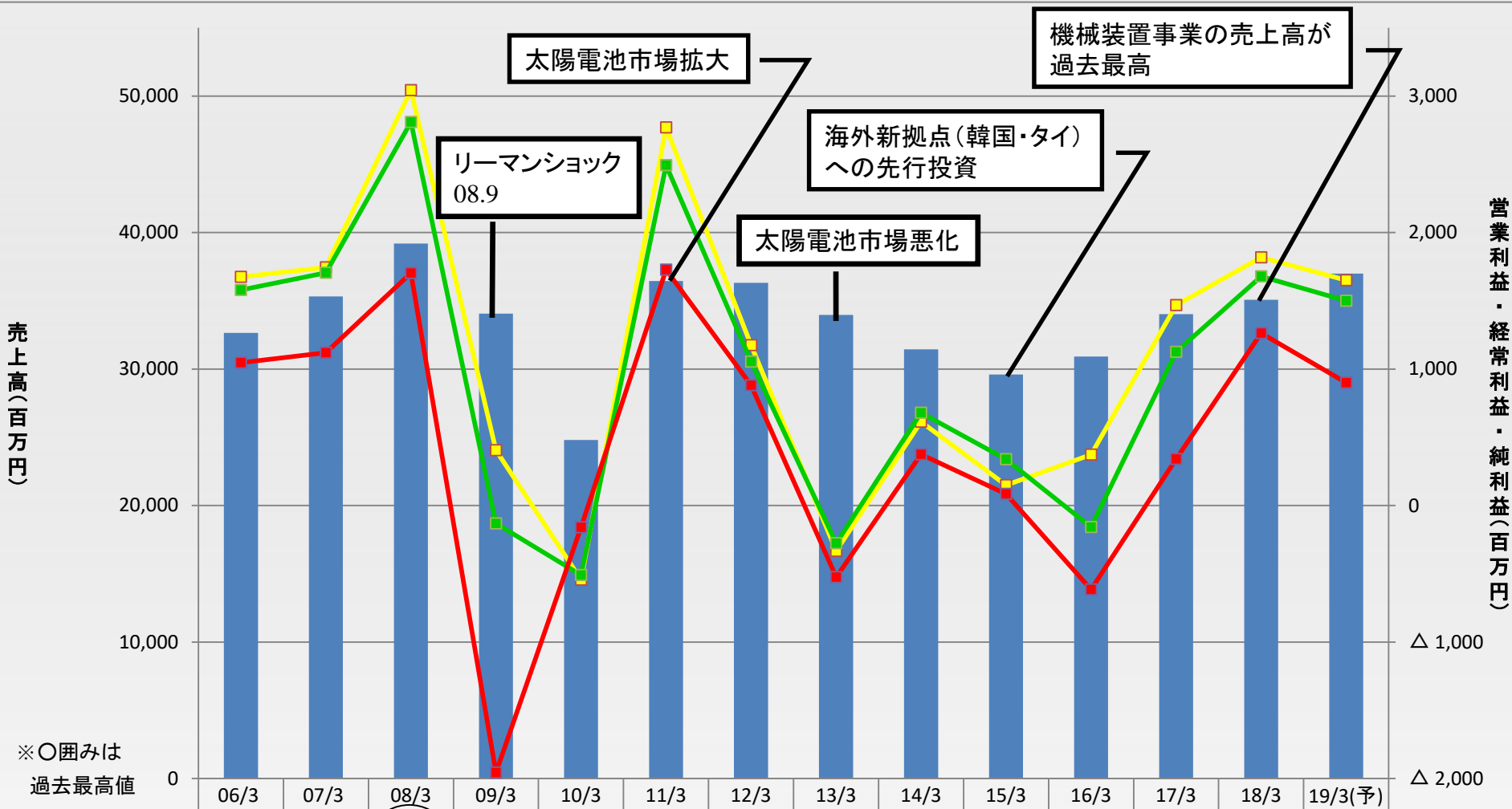
注2: Build Block Systemでセルマシンに組付け

【主要取引先】

国内自動車メーカー及び関連メーカー(トヨタ系、日産系など)
海外自動車メーカー(中国、韓国など)

売上高・利益の推移（連結）

補足資料⑤



※○囲みは過去最高値

	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3(予)
■ 連結売上高	32,653	35,324	39,207	34,070	24,810	36,445	36,314	33,966	31,439	29,605	30,913	34,019	35,072	37,000
■ 連結営業利益	1,676	1,744	3,044	406	△ 542	2,770	1,175	△ 332	614	150	373	1,469	1,819	1,650
■ 連結経常利益	1,580	1,705	2,809	△ 131	△ 509	2,494	1,055	△ 275	680	339	△ 158	1,125	1,679	1,500
■ 連結純利益	1,046	1,121	1,704	△ 1,956	△ 159	1,728	882	△ 524	375	86	△ 614	341	1,264	900